

協力準備調査(BOPビジネス連携促進)

バングラデシュ・NGOとの連携による教育の質向上事業準備調査 株式会社 公文教育研究会

開発課題

- 小学校の就学率が向上する一方、教育の質が課題となっており、学校に何年通っても読み書きや基礎レベルの計算ができない子どもの数が数百万人にもものぼる学習危機が起こっている。
- さらに、学力不足による留年やドロップアウトの増加が課題となっている。

提案事業

- 世界最大規模のNGOであるBRACが運営する貧困層向けのノンフォーマル小学校BRACスクールにおいて、公文式学習を提供し、貧困層の教育の質の改善が図れるか検証する。
- BRACと協働し、貧困層に質の高い教育が持続的に提供できるビジネススキームの検討を行う。

「協力準備調査(BOPビジネス連携促進)」を通じた ビジネスモデル構築、事業計画立案



公文式に取り組むBRACスクールの子どもたち

BRACとの連携

- BRACがバングラデシュで中高所得層向けの公文式教室事業を立ち上げ、その利益をもとに、並行して貧困層へ公文式学習を提供するビジネスモデルを構築。



2017年10月ダッカに公文式教室開設

成果

- 貧困地域にあるノンフォーマル小学校の3・4年生の認知能力と非認知能力に与える効果について、無作為化比較対照実験(RCT)により分析した結果、算数の習熟度や計算スピードが高まるとともに、子どもたちが自信を持つようになり、学習への意欲向上もみられた。また、教師の学生評価能力の向上が確認された。
- 2017年10月、バングラデシュで初となる公文式教室を2教室、ダッカに開設した。